

4 単元計画

| 学習問題・児童の意識（13時間完了） | 教師の支援 |
|--|---|
| <div data-bbox="188 286 1002 338" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2直線の関係について考えよう（2）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・2本の直線が交わってできる角が直角のとき、2本の直線は垂直だとわかったよ。 ・直線が交わっていなくても、直線を伸ばしたときに直角ができる関係の直線は垂直だとわかったよ。 ・1本の直線に対して垂直な2本の直線は、平行であることがわかったよ。 ・平行な2直線の幅は、どこで測っても等しくなったよ。 <div data-bbox="188 660 1002 712" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">垂直や平行な直線のかき方を知ろう（3）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1組の三角定規を使うと、垂直と平行の直線を引くことができたよ。 ・斜めに垂直や平行な直線も引くことができたよ。 ・三角定規を横に動かすのが難しかったよ。 ・三角定規を使うと、長方形や正方形がかけたよ。 <div data-bbox="188 945 1002 996" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">さまざまな四角形について知ろう（7）本時（6/13）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・平行な辺の数で台形と平行四辺形と名前が変わることがわかったよ。 ・平行四辺形の向かい合う角の大きさが等しかったよ。 ・1組の三角定規やコンパスを使うと平行四辺形をかくことができたよ。 ・向かい合う2組の辺が平行で、さらに辺の長さが等しい四角形をひし形だとわかったよ。 ・四角形の種類によって、対角線の交わり方に違いがあることがわかったよ。 ・ひし形を対角線できると二等辺三角形になったよ。 <div data-bbox="188 1456 1002 1507" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">平行四辺形をしきつめてみよう（1）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形を敷き詰めると、違う大きさの平行四辺形を見つけたよ。 ・平行四辺形の敷き詰め方によって、いろいろな模様が出来たよ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2つの直線の関係をおさえるために道路の交わり方に着目させる。 ・垂直である2本の直線は、十字になっているものだけではないことを、直線を伸ばす方法を通しておさえる。 ・平行を学習する際に、水平な直線だけでなく、傾いた平行関係の直線や重なりのない直線も取り上げる。 ・三角定規を動かす際に、押さえている三角定規がずれないように繰り返し練習させる。 ・長方形の書き方には、向かい合う辺の平行を使った書き方と長さを使った書き方があることおさえる。 ・ドットカードを使用し、四角形の頂点を示すことで、作図をしやすくする。 ・平行な関係の辺を赤色の線で強調することで、台形と平行四辺形の用語と定義の理解につなげる。 ・平行四辺形やひし形の角の大きさや長さを測るなど活動を増やしながら図形の性質を把握させる。 ・対角線や辺の長さなどの図形の性質を調べやすくするために、方眼のノートを使用し、視覚的な理解につなげる。 ・2種類の色の平行四辺形を用意し、模様の違いを視覚的に理解できるようにする。 |

5 本時の学習指導

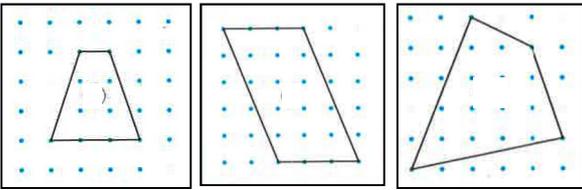
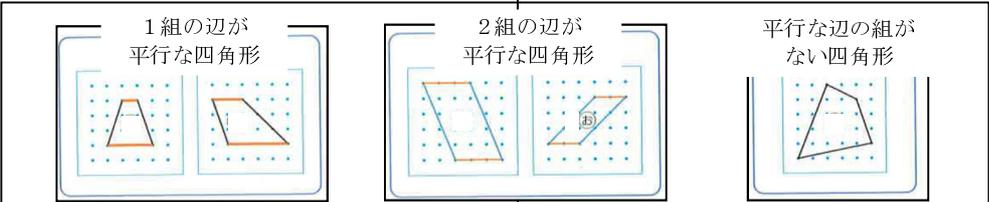
(1) 目標

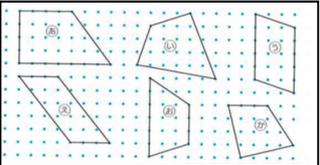
- ①四角形の仲間わけの仕方について進んで発表することができる。 (関心・意欲・態度)
- ②辺の平行関係に着目して四角形を分類することができる。 (技能)
- ③台形と平行四辺形の意味を理解することができる。 (知識・理解)

(2) 準備

- ・教師：ドットカード (掲示用)、タブレット端末 (児童分)
- ・児童：なし

(3) 展開

| 時間 | 児童の活動・気づきや意識 | 教師の支援 |
|----------|--|---|
| 導入 5 | 1 四角形の画像を見る。 ・正方形があったよ。 ・全部四角形だった。 | ・台形や平行四辺形を含む四角形の画像を提示する。 ・図形を提示する際に、画像の中にどこに四角形があるか尋ねる。 ・正方形と長方形の形をした画像から名称を尋ねる。 |
| 課題 1 | 2 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">四角形の辺をよく見て仲間に分けよう</div> | ・本時の学習課題を板書する。 |
| 展開 34 | 3 同じ形の四角形を選ぶ。 (1) タブレット端末に四角形を作図し、データを保存する。 (2) 学級の児童が作図した四角形を見て、その中から同じ形の四角形を選ぶ。  | ・四角形の作図の方法を説明する。 ・作図に困っている児童には、四角形が4つの辺でできていることを確認する。 ・台形と平行四辺形を作図している児童を確認しておく。 ・自分が作図した四角形と見比べて大きさは問わず、同じ種類だと思ふ四角形を選んでよいことを伝える。 ・2人組で自分が選んだ四角形を見せて、理由を説明するように指示する。 ・友達に理解してもらえるように、仲間分けの観点を伝えている児童を称賛する。 ・平行な辺の組がない四角形を選んでいる児童には、平行な辺がないか個別に確認する。 |
| | 4 四角形の画像を見て、平行な部分に色を塗る。 (1) 台形 (2) 平行四辺形 (3) 平行な辺の組がない四角形  | ・四角形を提示して平行な辺に色付けするように指示する。 ・2組の平行な辺に色を塗るときは、色分けするよう声をかける。 ・平行な辺の組がない四角形のときには、平行がないことを確認する。 |

| | | |
|-----------------|--|---|
| <p>終末 5</p> | <p>5 台形と平行四辺形の定義を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合う 1 組の辺が平行な四角形を台形という。 ・向かい合う 2 組の辺が平行な四角形を平行四辺形という。 </div> <p>6 問題を解く。P. 71②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士で四角形の名前と理由を説明し合う。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>四角形を見て台形や平行四辺形が見分けることができるようになりました。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・台形、平行四辺形という用語とその定義を板書する。 ・平行四辺形の定義をおさえるときに、長方形と正方形は、さらに直角という条件がついて成り立つ四角形であることを知らせる。 ・教科書の問題を隣同士で説明することを伝える。 ・説明をする時、四角形の種類を述べた後、どの部分が平行であることを示すよう指示する。 ・友達にわかりやすく四角形の分類を説明している児童を称賛する。 ・本時でわかったことをノートに記述するように指示する。 ・次時は、平行四辺形の特徴について学習することを伝える。 |
|-----------------|--|---|

(5) 評価

- ①四角形の仲間分けについて、理由をもって相手にわかりやすいように話すことができたか。
(活動 3、6 の子供の様子や発言から)
- ②向かい合うが辺の平行であるかに着目して、四角形を 3 つに分けられることが理解できたか。
(活動 3、6 の子供の様子や発言、ノートの記述から)
- ③台形と平行四辺形の定義を理解することができたか。
(活動 6、7 の子供の様子や発言、ノートの記述から)